

公開シンポジウム

「生物多様性に関する学術と社会の対話フォーラムの一年前プレフォーラム」

2010年に名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議が開催されることが予定されており、それにむけて、市民、企業など、多様な主体の会議への参加・支援への意識が高まりつつある。一方で、急速に深刻化する生物多様性の危機に適切に対処し持続可能性を確保するため、生物多様性配慮を社会各層の営み（土地利用、産業活動、消費活動など）に浸透させることが課題となっている。しかし、社会階層のいずれにおいても、そのために必要な理解やリテラシーは、必ずしも十分に醸成されているとはいえない。開催予定地では、「取組に対する意欲を持つが故の疑問・悩み」も生じているという。そこで、学術分野において従来から生物多様性に深いかかわりをもってきた研究者をはじめとする広範な分野の研究者と社会の多様な主体のあいだで、活発に経験・情報を交流する場を設けることの意義は大きいものと思われる。統合生物学分野は生物多様性ともっともかかわりが深い学術領域である。本公開講演会は、わが国で開催されるCOP10にむけた学術と社会の交流のフォーラム（2010年8月に名古屋で公開講演会として開催を予定）の一年前のプレフォーラムとして開催する。来年の本フォーラムに向けた多様な主体の活発な情報交流の場として重要な役割を果たすことが期待される。

1. 主 催：日本学術会議応用生物学委員会、生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会
2. 後 援：環境省
3. 日 時：平成21年10月12日（月）16：00～18：30
4. 場 所：名古屋国際会議場（名古屋市熱田区熱田西町1番1号）
5. 次 第：

16:00－16:10 開催の挨拶 鷺谷いづみ（第二部会員、応用生物学委員会委員長）

16:10－16:15 挨拶 生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

16:10-17:30 第一部：パネルディスカッション：セクター間対話に向けて

司会：涌井史郎（造園系、中部大学）

パネラー：

学術分野から 鷺谷いづみ（東京大学教授、日本学術会議 第二部会員）

林 良嗣（名古屋大学教授 日本学術会議連携会員）

香坂 玲（名古屋市立大学准教授）

NGO/NPO から 2名

企業関係から 2名

17:30-18:30 第二部：統合生物学学術領域からの発信－生物多様性研究の最前線

司会：鷺谷いづみ（東京大学教授、日本学術会議 第二部会員）

プレゼンター：

生態科学 松本忠夫（放送大学教授、日本学術会議連携会員）

自然人類学 斎藤成也（国立遺伝学研究所教授、日本学術会議第二部会員）

生物行動学 長谷川真理子（総合研究大学院大学教授、日本学術会議連携会員）

自然史・古生物学 北里洋（海洋研究開発機構領域長、日本学術会議第三部会員）

進化認知行動学 長谷川寿一（東京大学教授、日本学術会議第一部会員）

バイオインフォマティクス 美宅成樹（名古屋大学教授、日本学術会議連携会員）

【参加申込方法】

（１）参加者氏名、（２）郵便番号・住所（自宅または勤務先どちらかを明記してください）、（３）電話番号、（４）職業をご記入の上、FAXにて下記連絡先のいずれかまでお申し込みください。参加費は無料です。

COP10開催1年前記念事業事務局 FAX 052-932-2300

東京大学保全生態学研究室 FAX 03-5841-8916